

## 1 策定趣旨

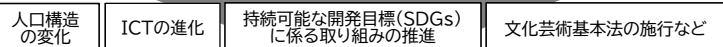
### 位置づけ

- 平成23年度に策定した「新潟市文化創造都市ビジョン」に「交流人口の拡大」といった新たな視点を追加し、平成28年度に「新潟市文化創造交流都市ビジョン」(現行ビジョン)を策定。(当初計画期間:H29~R3)
- 令和5年度から開始する新総合計画との整合を図るため、終了年度を令和5年度に延長。
- 次期「新潟市文化創造都市ビジョン」は令和6年度から開始予定であり、令和13年度までの8年間を計画期間とする。なお、社会状況の変化や市民ニーズに柔軟に対応するため、令和9年度に中間見直しを予定。



### これまでの経過と次期ビジョン策定の留意点

H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
文化創造交流都市ビジョン				財政基盤強化に向けた集中改革		(2年延伸)	
オリンピック文化プログラム推進				COVID-19感染拡大		5類移行	
●水と土の芸術祭		●ラ・フォル・ジュルネ新潟		●緊急事態宣言		●文化芸術にかかる相談窓口	
●アートカウンシル新潟設立		●ゆいぽーと設立		●東京2020大会		●感染対策モデル公演	
				●ガイドライン策定		●市民交流ステージ	
						●リ्यूーとびあ夢ステージ	
						●施設利用補助金	
						●企画提案型イベント助成 など	
<ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020大会の開催が決まり、国内外に対して本市の魅力を発信するまたとない機会ととらえ、大会後も見据えながら、発信力の高い大規模催事の実施や文化交流拠点づくり、市民活動の活性化に取り組んだ。</li> <li>一方で、市全体の財政基盤強化に向けた集中改革の取り組みにより、文化芸術関係事業についても大幅な統廃合を行った。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の文化芸術活動そのものの「たね火」を消さないことを念頭に活動の環境整備や支援に取り組んだ。</li> <li>文化芸術を活用したシティプロモーションや誘客については国内外の移動制約により、効果的な取り組みは不能。</li> <li>感染状況の鎮静化に伴い、徐々にではあるが市民の芸術活動を含む社会経済活動は再開してきている。</li> <li>一方で、人口減少や少子高齢化等による地域のつながりの希薄化、文化芸術の担い手不足や団体の活動基盤の脆弱さといった、本市の文化政策を推進していく上での根本的な課題が顕在化した。</li> </ul>			



市民一人ひとりに向けたメッセージとして

### 次期「新潟市文化創造都市ビジョン」の策定へ

新潟市の文化政策における基本理念と施策の方向性を明らかにし、文化芸術関連施策を効果的・効率的に推進するための指針

- (1) 策定趣旨
- (2) 新潟市の文化芸術を取り巻く状況
- (3) 基本理念と施策の方向性(3本の柱)

## 2 基本理念と施策の方向性(3本の柱)

### <基本理念>

文化芸術によって育まれた、市民一人ひとりの心の豊かさやいきいきとした暮らしが、将来にわたってまち全体を活性化している

まちの魅力はそこに暮らす人々の「心の豊かさ」。新潟市は、文化芸術によって市民一人ひとりの感動や発見を引き出し、人と人とを引き合わせ、「いきいきとした暮らし」を「まち全体の活性化」につなげます。

人・地域・まちそれぞれが相互に関係しあいながら発展します。

### <施策の方向性>

### <ゴール(到達点)>

#### 【心の豊かさ】

文化芸術によって市民の感動や発見が引き出されている

- 市民一人ひとりが、
- 文化芸術の「受け手」であり、「つくり手」「担い手」でもあることを意識することで、自らの感性をより豊かに伸ばし、自分らしく表現している。
  - 文化芸術への興味関心を高め、主体的・能動的な関わりを深めている。

【いきいきとした暮らし】  
文化芸術によって人と人がつながり、地域の豊かさが高まっている

- 市民一人ひとりが、
- 文化芸術が包摂する多様な価値観に触れ、他者と相互に感性や表現を交わすことで、自身の役割を見つけ、地域コミュニティやネットワークに積極的に参画している。
  - 地域に根ざした文化や文化財等との各々の結びつきに気づき、学びを得ることで、地域の風景や風土、歴史を共有し、将来世代に引き継いでいる。

#### 【まち全体の活性化】

文化芸術によって市民が触発され、創造された新たな価値が、まち全体を活性化している

- 市民一人ひとりが、
- 新潟の特色ある文化に加え、個々の主体的な文化芸術活動をまちの魅力として誇りに思い大切にしている。
  - 文化芸術を自在に活用し、活動や交流の幅を広げながら新たな価値を生み出している。

## 3 評価手法について

